

# 群馬・桐生 生活保護

## 「水際作戦」を常態化

群馬県桐生市が生活保護を利用する50代の男性に対し1日1000円ずつ手渡し、金額支給していない問題は毎日ハローワークに行き職員に印鑑を押しつけてもらって条件とするなど、専門家から違法性を指摘されています。同様のケースがあることも明らかになっています。

(桐生市報)

「食事は1日の間に減らし、夏はエアコンが無いので近所のスーパーでやり過ぎた」  
 そう話すのは今回の問題で当事者となった亀田晃一さん(仮名)。50代まで建設業で働くも、心疾患と糖尿病を患い、膝を痛め、長時間労働が困難だ。

### 1日千円ずつ支給

「役所は私が1日1000円の支給に同意したと言ったが、そんな覚えはないし、約2カ月、生活が苦

うに言ってきた。相談相手がいらない人は他にもいると思う」

亀田さんが群馬司法福祉会に相談したのは9月下旬。その後、同会の仲道宗弘副会長と一緒に市を訪ね、その場で未支給分の13万4180円が支払われた。同会は荒木恵司市長あてに運用改善も求めています。仲道氏は「行き過ぎ



自宅取材に応じた当事者の亀田さん(仮名)

## 却下・取り下げ率43%

群馬県内福祉事務所(市部)保護の申請、開始等の状況(2020年度)

実施機関名	保護申請数	保護開始数	申請却下数	取り下げ数	却下・取り下げ率
前橋市	401	369	16	29	11.2%
高崎市	376	347	24	12	9.6%
桐生市	70	40	27	3	42.9%
伊勢崎市	198	172	12	6	9.1%
太田市	139	130	8	1	6.5%
沼田市	40	27	9	3	30.0%
館林市	59	50	9	2	18.6%
渋川市	64	52	8	4	18.8%
藤岡市	54	40	9	4	24.1%
富岡市	51	33	13	3	31.4%
安中市	51	39	7	5	23.5%
みどり市	40	35	4	1	12.5%
市部計	1543	1334	146	73	14.2%

※生活保護情報グループがつくったものをもとに作成

た指導で、憲法と法律に違反している」と指摘。「生活保護利用者に対して家計改善を求めて分割払いをする例もあります。しかし金額支給しないのはおかしいし、同意の書面もない。前代未聞です」と批判します。市の担当者は「個別のケースに依らない」と話しますが、同県内の生活保護(心的外傷後ストレス障

害)になりました。

「毎月一度、家計簿とシート全部をもって役所に行きました。体調が悪く行けないと電話口で怒鳴られ、本当に怖かった」

4日、市議会と日本共産党の市議が質問し、市側は他にも2022〜23年度の間で保護利用者10人に対して金額支給せず、一部不支給していたことを答弁しました。

同党の関口直入市議員は、市がこれまで窓口で大声での暴言、申請書を渡さないなど、「水際作戦」を常態化し、保護率を下げてきたとし「議会が追及しても、市長は対応しなかった」と話します。京市議員は全容解明と運用改善を求める要請書を11月に提出しています。

仲道氏は今後弁護士と相談して訴訟を検討することもある、こう話します。

「市だけでなく、弁護士、司法書士、医師、精神分野などの専門家が関わりケース会議を開くことが大切で、その体制をつくる必要がある」